# Cu(InGa)Se<sub>2</sub> (CIGS )系薄膜太陽電池の技術課題と先端計測分析技術

高性能化への材料開発・高性能化 プロヤス 低コスト・大面積製造技術 透明導電膜の改善 セレン化、蒸着法、MOCVD 光閉じ込め技術 長波長対応TCO 非真空プロセス 微粒子 電界メッキ 透明導電膜 TCO (ZnO, ZnMgO) バッファ層の開発 中間層 Cd free フレキシブル基板.. 界面制御技術 低温製膜 ロール・ツー・ロールプロセス 光吸収層 (Cu, Ag)(Ga, Al) (Se, S, Te)<sub>2</sub> ワイドギャップからナローギャップ 材料の開発. バンドプロファイルなどデバイス MoSe 技術 特色ある応用分野 Мо 光吸収層の薄膜化 青板ガラス 宇宙応用 Inフリー材料 (Cu-Zn-Sn-S etc)

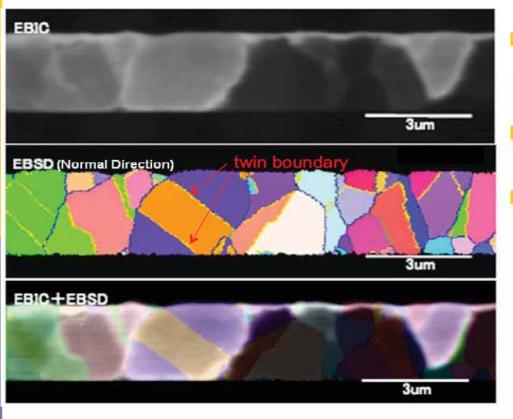
Cu(InGa)Se<sub>2</sub>光吸収層の評価

- ・1mm以下の領域でのキャリア濃度分布
- ・結晶粒の配向性と、粒界の電気的評価
- ・ナノレベルでの点欠陥の同定と評価

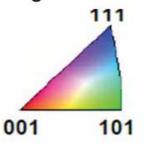
東工大、山田教授

### Cu(InGa)Se<sub>2</sub>薄膜の結晶方位、粒界の性質等の評価

EBIC and Electron Backscatter Diffraction Pattern (EBSD) of CIGS solar cells



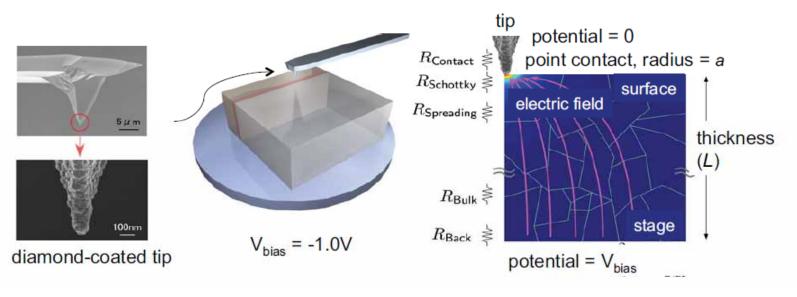
- Twin boundaries are electrically inactive.
- GBs show bright EBIC signal.
- Several grains show weak EBIC signal.



東工大、山田教授

# Scanning spreading resistance microscope (SSRM)

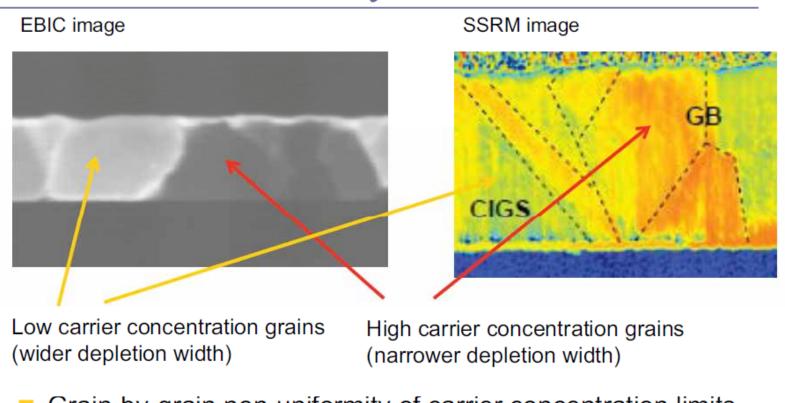
- SSRM is a kind of scanning probe method (SPM).
- Spreading resistance is sensitive to the surface resistivity. The measured depth is almost same as the tip radius (~ several nm).



### Cu(InGa)Se2薄膜の粒内のキャリア濃度分布結晶

東工大、山田教授

# Evaluation of GBs by EBIC and SSRM



Grain-by-grain non-uniformity of carrier concentration limits the solar cell performance.

太陽光発電屋外評価計測分析技術・機器開発 出力モニター・気象データ・故障診断







# まとめ

2020年、2030年に広く実用化されている太陽光発電システムに望まれる先端計測分析・機器

ナノ(原子)レベルでの評価 界面の組成、電荷発生メカニズム、欠陥準位 キャリア寿命時間分布、粒界の性質、粒内の性質など

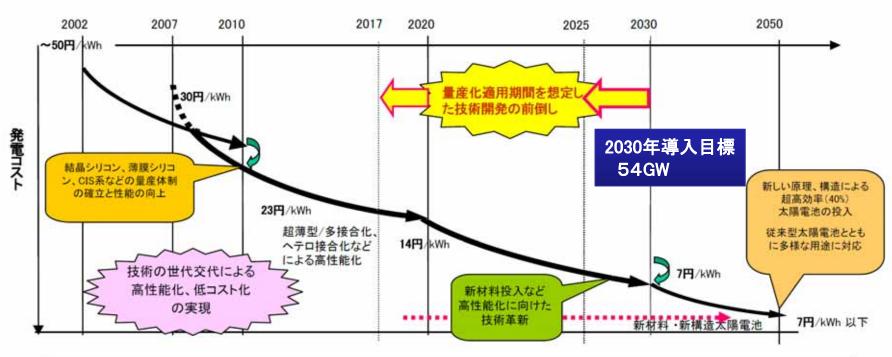
大面積基板上での評価(製造ラインへの適用) 面積数m<sup>2</sup>の基板上での均一性評価など

太陽光発電システムの評価・診断

# 補足資料

## 太陽光発電のロードマップ PV2030+

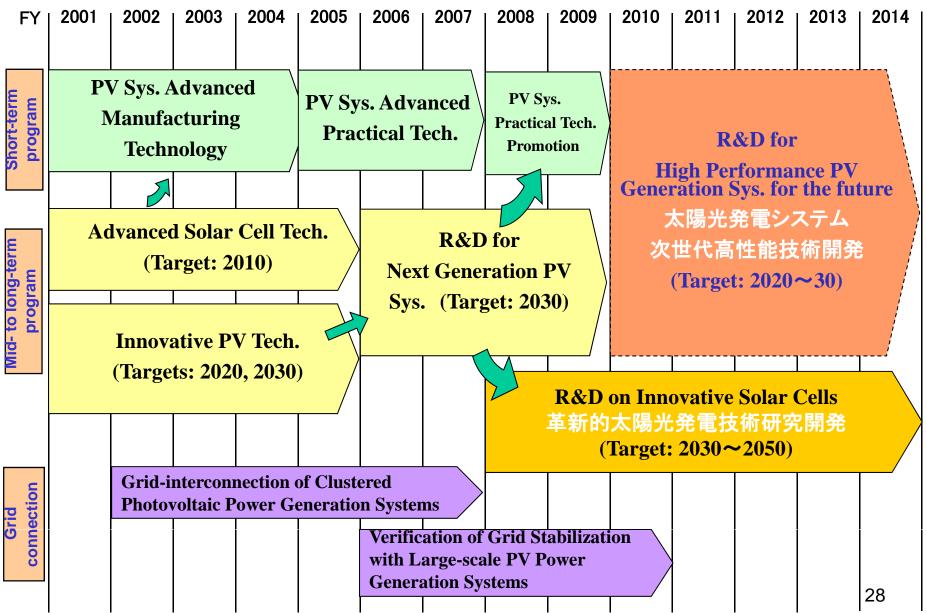
#### ● 低コスト化シナリオと太陽光発電の展開



実現時期(開発完了)	2010年以降	2020年(2017年)	2030年(2025年)	2050年 汎用電源として利用 (7円/kWh以下)	
発電コスト	家庭用電力並 (23円/kWh)	業務用電力並 (14円/kWh)	事業用電力並み (7円/kWh)		
<b>モジュール変換効率</b> (研究レベル)	<b>実用モジュール16%</b> (研究セル20%)	<b>実用モジュール<mark>20%</mark></b> (研究セル25%)	実用モジュール25% (研究セル30%)	超高効率モジュール40%	
国内向生産量(GW/年)	0.5~1	2~3	6~12	25~35	
(海外市場向け(GW/年))	~1	~3	30~35	~300	
主な用途	戸建住宅、公共施設	住宅(戸建、集合) 公共施設、事務所など	住宅(戸建、集合)公共施設、 民生業務用、電気自動車な ど充電	民生用途全般 産業用、運輸用、 農業他、独立電源	

### Overview of NEDO's PV R&D Program

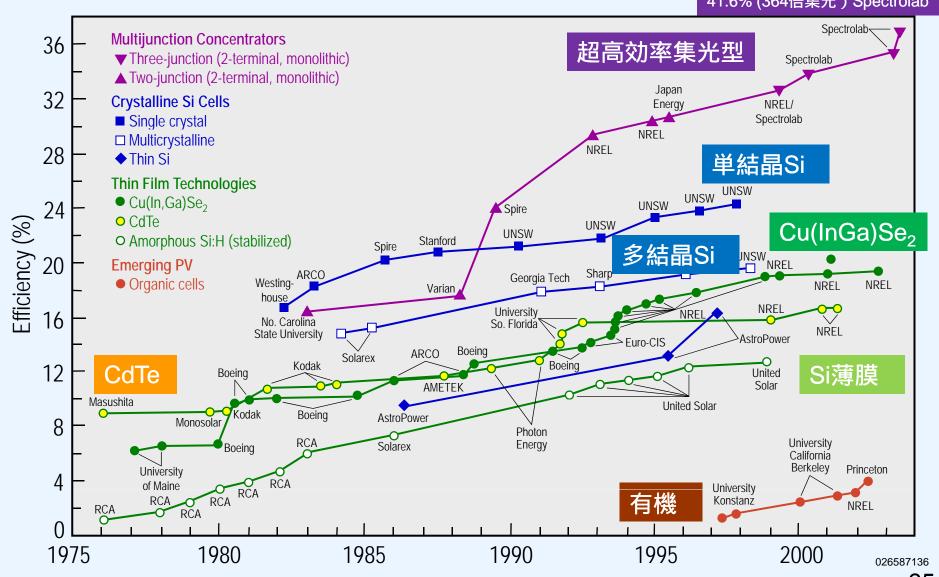






## 研究開発レベルでの最高変換効率推移

GaInP/GaInAs/Ge 2-terminal 41.6% (364倍集光) Spectrolab



# 太陽光発電のロードマップ PV2030+

-	太陽電池	2010年		2017年		2025年			2050年	
個別		モジ・ュール (%)	セル(%)	モジュール (%)	セル(%)	モジュール (%)	セル (%)	製造 コスト (円/W)	寿命 (年)	モジュール
技術の開発	結晶Si	16	20	20	25	25	(30)	50	30(40)	40%の超高 効率太陽 電池(追加 開発)
	薄膜Si	12	15	14	18	18	20	40	30(40)	
	CIS系	15	20	18	25	25	30	50	30(40)	
目標	化合物	28	40	35	45	40	50	50	30(40)	
1255	色素 増感	8	12	10	15	15	18	<40		
	有機系		7	10	12	15	15	<40		